

平成28年度 小豆島オリーブ検定(マイスター検定) 正解表

設問	正解	解説	出典	設問	正解	解説	出典	設問	正解	解説	出典
問1	3	アンフォラは陶器の一種でオリーブオイル、ワイン、オリーブ等の必需品の運搬・保存に使用された		問18	1	日本へは明治40年(1907)、農商務省指定試験開始時にアメリカから導入された	テキスト60	問35	1	オリーブオイルにビタミンAは含まれていないが、β-カロテンがヒトの体内に入るとビタミンAに変化する	
問2	4	林洞海はオランダの医師ニーマンに西洋医学を学び、当時將軍の侍医をしていた蘭方医で、オリーブオイルの持つ医薬品としての価値をいち早く注目し国内での生産を考えたが、フランスから輸入した苗木は風土に適さなかったためか繁殖せず、失敗に終わったと言われている	テキスト9	問19	1	①ミッシン種 ②マンザニロ種 ③ルッカ種 ④ネバディロ・ブランコ種		問36	1	オレウロペインは分子に糖を持っていることから水溶性が高く、油にはほとんど溶けない	
問3	1	福羽逸人による管理が好成績を治め、明治15年(1882)には果実が収穫され、日本で初めてオリーブオイルの採油及びテールオリーブス加工が行われたとされている	テキスト11	問20	2			問37	2		
問4	2	オリーブの品種・栽培・繁殖・病害虫・漬物加工・採油まで網羅していた		問21	3	8段階の熟度指数がある ①濃緑色 ②淡緑～黄色 ③2分の1以上着色 ④全着色(果肉着色2分の1以上)		問38	3	日本製粉が平成27年(2015)6月1日から発売開始。マズリン酸は、オリーブ果実に含まれるトリテルペン類の一種	
問5	1	明治41年(1908)4月22日、香川県は当時の農商務省から配布されたオリーブの苗木519本を西村字荒神の1.2haの土地に定植	テキスト13	問22	1	雨が多いと病気が発生しやすい。また水で果実が膨れるため、相対的に含油率は低下する。ポリフェノールは水溶性のため含水量が多いと低下する		問39	4	平成28年(2016)10月18日～10月20日に開催された、日本で初めてのオリーブオイル国際商談専門見本市。オリーブオイル、関連食品・商品、栽培技術や搾油機械、研究開発等の企業、団体が出展	
問6	1	当時、農事試験場にはオリーブ専任の試験担当者が不在で、種芸部の圃地担当者であった平野技師が高松市の本場から出張して試験を実施した	テキスト14	問23	2	バーライトとは、鉱物を高温で熱することで発泡させた白色粒状の土。原料によって性質の違いはあるが、土壌改良材や培養土の原料として利用される		問40	3	オレイン酸は、オリーブ油・キャノーラ油・ナッツ類などに多く含まれる一価(単価)不飽和脂肪酸を代表する脂肪酸であり、加熱の影響を受けにくい	
問7	4	湊川神社の境内に植栽されているオリーブ樹付近に「この木は明治11年(1878)パリの万博博覧会で日本館長をしていた前田正名がフランスより持ち帰った一つで日本最古のオリーブの樹と云われている」という立札がある		問24	3	横径の出荷基準の他にも赤紫系の着色がない品種固有の状態をしているかや、傷果・病果・過熟果・未熟果・小果の混入はしないという出荷基準が設けられている		問41	4	オイルの酸化、あるいは精製処理等により、紫外線を吸収する化学結合が脂質成分のなかで増えるため	
問8	1	昭和7年(1923)にアメリカ合衆国のカルフォルニア州から導入された	テキスト61	問25	1	②イタリア ③フランス ④イタリア		問42	4	原則無税である	
問9	3	宮内省大膳頭の福羽逸人子爵の来島を請い、栽培や加工について指導を受けた		問26	4	④フランス	テキスト66	問43	2	第十七改正日本薬局方に記載されている	
問10	3	昭和63年(1988)に小豆島の民間企業が国内初の遠心分離式採油装置を導入。その後平成10年(1998)に小豆島の民間企業が国内初小型遠心分離式採油機を導入		問27	4	①レッチェノ種の選抜により作出 ②アルベキナ×ビジュアル ③フラントイオの実生		問44	4	東京国際女子マラソン以外の3大会には小豆島のオリーブの冠が優勝者に贈られたことがある	
問11	3	平成27年度(2015年度)の小豆郡(小豆島町・土庄町)の収穫量は約348トン 平成28年度(2016年度)の小豆郡(小豆島町・土庄町)の収穫量は約294トン		問28	3	平成28年(2016)の日本のオリーブオイル輸入量は、58,458,153kgである		問45	3	WODは、オリーブオイルの健康効果に対する理解を深めることやオリーブ産業の発展などを目的に制定された	
問12	2	これまでは、適応病害虫名にオリーブアナアキゾウムシのみ登録されていたが、平成28年(2016)11月30日付けでミニアオカメムシも追加登録となった		問29	3	平成28年(2016)の日本のオリーブオイル輸入量のうち、金額ベースでは多い順にスペイン>イタリア>ギリシャ 平成28年(2016)の日本のオリーブオイル輸入量のうち、金額ベースでは多い順にスペイン>イタリア>ギリシャ		問46	3		
問13	4	原産地は、中国、台湾、朝鮮半島、ベトナム北部など。一部ではクロジャコウカミキリと呼称する		問30	1	オリーブイリコは香川県産業技術センター発酵食品研究所(香川県小豆島町)と伊吹漁業協同組合(香川県観音寺市)が開発		問47	5		
問14	4	日本では、平成26年(2014)静岡県において発見され、平成27年(2015)5月11日に特殊報が発表された。世界では、ヨーロッパ、アフリカをはじめとする約60カ国で発生している		問31	1	法人税等の「原価償却資産の耐用年数等に関する省令」に基づく		問48	2		
問15	1	花冠とは花びらの集まりであり、花びら同士がくっついて花冠をなしている状態を合弁花冠という	テキスト31	問32	4	食用油脂では、ほとんどの脂肪酸はグリセリンと結合したグリセリドの状態が存在する		問49	1		
問16	4	発根率が良い順にネバディロブランコ>マンザニロ>ルッカ>ミッシン		問33	1	小豆島から7社、香川県本土から1社、県外が1社(熊本県天草市)		問50	4		
問17	1	ルッカは初期生育が旺盛で、樹勢が落ち着き結実開始に至るまでの期間が長い		問34	4	カテキンは、ポリフェノールの一種であり、緑茶に含まれる苦味成分である					